



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 オールエル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7670 URL <https://www.owell.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川戸 康晴
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 大野 善崇 (TEL) 06-6473-0138
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	29,292	8.1	132	—	326	124.2	183	112.8
2022年3月期第2四半期	27,110	9.8	4	—	145	—	86	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 169百万円(—%) 2022年3月期第2四半期△860百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	17.98	—
2022年3月期第2四半期	8.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	42,736	18,156	42.1
2022年3月期	41,646	18,091	43.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 18,002百万円 2022年3月期 17,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	12.00	17.00
2023年3月期	—	7.00			
2023年3月期(予想)			—	13.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	8.9	600	161.7	800	59.5	500	91.4	48.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	10,500,000株	2022年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	293,368株	2022年3月期	325,839株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	10,182,855株	2022年3月期2Q	10,352,086株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢、原材料価格の高騰、新型コロナウイルス感染症による影響等、不透明な状況で推移しましたが、自動車産業を中心に製造業において生産活動へ大きく影響を及ぼした半導体の部品調達難等は解消に向かいつつあり、景気は緩やかに持ち直しが見られました。海外経済においても同様であり、今後の国内外の景気動向は、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等、先行き不透明な状況が継続されることによる下振れリスクの高まりに留意する必要があるものの、引き続き緩やかに持ち直していくと推測されます。

当社グループはこのような状況の中においても、マーケティング活動を強化し、当社グループのコア事業である塗料関連事業と電気・電子部品事業のシナジーを高め、ものづくり現場のデジタル化、グローバル化を推進しました。また、お取引先様の課題解決に的を絞って、新型コロナウイルス感染症拡大の収束後の世界にも通用する価値を提供して、新たな需要を創造していくとともに、事業活動を通じてSDGs等の社会課題の解決に貢献してまいりました。なお、これらの事業を展開する上で、事業構造や経営資源の配分を抜本的に見直し、収益体質を強化することに努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は29,292百万円(前年同期比8.1%増)、営業利益は132百万円(前年同期は4百万円の営業利益)、経常利益は326百万円(前年同期比124.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は183百万円(前年同期比112.8%増)となりました。

塗料関連事業では、主たるお客様である自動車メーカーの生産台数は、半導体等の部品調達難の影響で当初計画より減少しましたが、前第2四半期累計期間と比較すると一部の自動車メーカーで生産台数が増加したこと等により、売上高は増加しました。

その結果、塗料関連事業の売上高は21,195百万円(前年同期比6.0%増)、セグメント利益は799百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

電気・電子部品事業では、主たる商材のホールICは、自動車生産台数が当初計画より減少したことにより、出荷数量は減少しましたが、当社会社であるユニ電子(株)において、ドライブレコーダー用ソフトウェアの販売が好調に推移したこと等により、売上高は増加しました。

その結果、電気・電子部品事業の売上高は8,097百万円(前年同期比13.8%増)、セグメント利益は220百万円(前年同期比77.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末の26,951百万円に比べ1,245百万円(4.6%)増加し、28,196百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が587百万円減少し、電子記録債権が288百万円、棚卸資産が1,100百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末の14,695百万円に比べ155百万円(1.1%)減少し、14,540百万円となりました。その主な内訳は、投資有価証券が202百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末の18,472百万円に比べ1,136百万円(6.2%)増加し、19,609百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が631百万円、短期借入金が135百万円、契約負債が258百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末の5,082百万円に比べ111百万円(2.2%)減少し、4,971百万円となりました。その主な内訳は、繰延税金負債が69百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末の18,091百万円に比べ64百万円(0.4%)増加し、18,156百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金が61百万円、為替換算調整勘定が186百万円それぞれ増加し、その他有価証券評価差額金が185百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月9日に開示致しました「2023年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した連結業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,416	3,829
受取手形	1,267	1,170
電子記録債権	3,727	4,016
売掛金	11,491	11,692
棚卸資産	5,345	6,445
その他	718	1,060
貸倒引当金	△16	△18
流動資産合計	26,951	28,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,319	1,296
機械装置及び運搬具（純額）	91	104
工具、器具及び備品（純額）	54	47
土地	1,900	1,900
リース資産（純額）	64	86
建設仮勘定	6	67
有形固定資産合計	3,437	3,503
無形固定資産		
ソフトウェア	71	482
のれん	22	20
その他	508	46
無形固定資産合計	603	549
投資その他の資産		
投資有価証券	9,480	9,277
長期貸付金	90	94
退職給付に係る資産	659	686
繰延税金資産	104	93
その他	397	419
貸倒引当金	△78	△85
投資その他の資産合計	10,654	10,487
固定資産合計	14,695	14,540
資産合計	41,646	42,736

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,286	14,918
短期借入金	2,092	2,227
1年内返済予定の長期借入金	50	50
未払法人税等	112	79
契約負債	637	896
賞与引当金	443	449
品質保証引当金	27	15
その他	822	972
流動負債合計	18,472	19,609
固定負債		
長期借入金	2,300	2,300
退職給付に係る負債	195	180
役員退職慰労引当金	89	74
繰延税金負債	2,248	2,178
資産除去債務	42	42
その他	206	194
固定負債合計	5,082	4,971
負債合計	23,554	24,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	857	857
資本剰余金	761	761
利益剰余金	11,299	11,360
自己株式	△181	△163
株主資本合計	12,737	12,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,027	4,842
繰延ヘッジ損益	△66	△87
為替換算調整勘定	83	270
退職給付に係る調整累計額	179	161
その他の包括利益累計額合計	5,224	5,186
非支配株主持分	129	153
純資産合計	18,091	18,156
負債純資産合計	41,646	42,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	27,110	29,292
売上原価	23,730	25,550
売上総利益	3,379	3,742
販売費及び一般管理費	3,375	3,609
営業利益	4	132
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	111	109
持分法による投資利益	6	13
為替差益	—	57
助成金収入	20	8
その他	26	40
営業外収益合計	166	230
営業外費用		
支払利息	13	12
為替差損	1	—
貸倒引当金繰入額	0	6
その他	9	16
営業外費用合計	25	36
経常利益	145	326
税金等調整前四半期純利益	145	326
法人税、住民税及び事業税	57	85
法人税等調整額	△4	41
法人税等合計	52	126
四半期純利益	93	200
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	86	183

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	93	200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△995	△185
繰延ヘッジ損益	5	△20
為替換算調整勘定	58	177
退職給付に係る調整額	△23	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	2	16
その他の包括利益合計	△953	△30
四半期包括利益	△860	169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△867	145
非支配株主に係る四半期包括利益	7	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	145	326
減価償却費	118	120
のれん償却額	9	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	6
品質保証引当金の増減額 (△は減少)	△19	△12
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△85	△70
長期未払金の増減額 (△は減少)	1	△15
受取利息及び受取配当金	△112	△110
支払利息	13	12
持分法による投資損益 (△は益)	△6	△13
売上債権の増減額 (△は増加)	1,388	△265
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△161	△1,037
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,470	554
その他	△269	△22
小計	△461	△516
利息及び配当金の受取額	113	110
利息の支払額	△13	△12
法人税等の支払額	△100	△52
営業活動によるキャッシュ・フロー	△462	△470
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△37	△35
固定資産の取得による支出	△160	△170
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	0	0
長期貸付けによる支出	△10	△2
長期貸付金の回収による収入	9	7
その他	△28	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△226	△200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	83	128
リース債務の返済による支出	△34	△30
配当金の支払額	△124	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75	△23
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	108
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△718	△587
現金及び現金同等物の期首残高	6,067	4,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,348	3,829

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

当第2四半期連結会計期間より、当社は棚卸資産の評価方法を、移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）から、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更致しました。

この評価方法の変更は、当社が2022年9月に基幹システムを更新したことを契機として、より迅速な期間損益計算を行うことができると判断し、評価方法を見直したことに伴うものであります。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。また、この変更は、当社が2022年9月に基幹システムを更新したことに伴うものであるため、当第2四半期連結会計期間より変更しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	塗料関連事業	電気・電子部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,997	7,112	27,110	—	27,110
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	294	327	△327	—
計	20,031	7,406	27,437	△327	27,110
セグメント利益	661	124	785	△781	4

(注) 1. セグメント利益の調整額△781百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	塗料関連事業	電気・電子部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,195	8,097	29,292	—	29,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	326	349	△349	—
計	21,218	8,423	29,642	△349	29,292
セグメント利益	799	220	1,020	△887	132

(注) 1. セグメント利益の調整額△887百万円は、主に各報告セグメントに配分していない会社の本社部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	塗料関連事業	電気・電子部品事業	
塗料・表面処理剤	12,547	—	12,547
化成品	3,737	—	3,737
機器	807	—	807
完成工事	823	—	823
その他	2,081	—	2,081
電気・電子部品	—	7,112	7,112
顧客との契約から生じる収益	19,997	7,112	27,110
外部顧客への売上高	19,997	7,112	27,110

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	塗料関連事業	電気・電子部品事業	
塗料・表面処理剤	13,359	—	13,359
化成品	4,243	—	4,243
機器	772	—	772
完成工事	634	—	634
その他	2,185	—	2,185
電気・電子部品	—	8,097	8,097
顧客との契約から生じる収益	21,195	8,097	29,292
外部顧客への売上高	21,195	8,097	29,292

(重要な後発事象)

該当事項はありません。